

都城工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国際文化論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0069		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		5		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	第一学習社 『グローバルワイド最新世界史図表』 978484053158						
担当教員	田村 理恵						
到達目標							
1) 現在世界各地で起こっている問題には歴史的背景があり、地域によって考え方が異なることを理解する。 2) 講義で取り扱う宗教の特徴を理解する。 3) 国際問題について自分の意見を述べるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		地域によって事象の捉え方も異なっており、それは歴史的に長い時間をかけてつくられてきたものである事が理解できる。		地域の特性とその要因となった歴史的事項が結びついている。		基本的な歴史的出来事が分かる。	
評価項目2		世界的な宗教が人々に及ぼしている影響と宗教の相互関係を理解する。		世界的に広まっている宗教を理解し、それが影響を大きく及ぼす範囲を理解する。		基本的な宗教の考え方が分かる。	
評価項目3		国際問題を民族問題、宗教問題を絡めながら解説でき、自分なりの意見を人に分かるように説明できる。		国際的な問題を歴史的背景から理解し、それを歴史用語も使用しながら書くことができる。		基本的な用語が分かり、記述できる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		交通、通信の発達により、現在は海外との交流も活発になってきている。しかし、必ずしもそれが相互理解をともなっているわけではない。そこで、本授業では、日本人にはこれまでなじみの少なかった民族、国家、宗教に焦点をしぼり、それらの言葉がどのような背景をもっているのか、それらがなぜ現在問題となっているのかを理解し、それらについて議論できるようにする。					
授業の進め方・方法		基本的には講義形式で行うが、学生同士の討論も行う。					
注意点		1) 現在世界各地で起こっている問題には歴史的背景があり、地域によって考え方が異なることを理解する。 2) 講義で取り扱う宗教の特徴を理解する。 3) 時事問題と歴史の関連を重視するので新聞に目を通し、授業で扱う問題との関連を常に意識することが必要である。					
ポートフォリオ							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業計画の説明 国民国家の起源（1）			民族とはどういうものかがわかる。	
		2週	国民国家の起源（2）			国民国家が形成される以前のヨーロッパにはどのような国家があったのかを理解する。	
		3週	国民国家の起源（3）			国民国家の形成の過程をフランスを例に理解する。	
		4週	日本での国民国家の形成（1）			近世以前の日本と外国との関係を理解する。	
		5週	日本での国民国家の形成（2）			ヨーロッパをモデルとした日本の明治期の国家形成を理解する。	
		6週	日本での国民国家の形成（3）			国民国家としての日本と国民や周辺国との関係を理解する。	
		7週	日本の国境問題			日本の国境問題にも歴史的経緯があることを理解する。	
		8週	多民族国家			多民族国家にはいくつかのパターンがあることを知る。	
	2ndQ	9週	多民族国家としてのアメリカの形成（1）			建国時のアメリカは「国民国家」であったことを理解する。	
		10週	多民族国家としてのアメリカの形成（2）			多民族国家としてのアメリカの形成過程を理解する。	
		11週	多民族国家としてのアメリカの形成（3）			アメリカの現在の「人種問題」を理解し、自分の意見を表明できる。	
		12週	移民への対応（1）			多民族国家でも移民への対応は異なることを理解する。	
		13週	移民への対応（2）			対応は異なることを理解する。	
		14週	国家と民族の関係のまとめ			国民国家、多民族国家を理解する。	
		15週	期末試験の解答とレポートの解説			これまでの確認	
		16週					
後期	3rdQ	1週	宗教の役割			宗教の果たす役割を理解する。	
		2週	仏教			仏教の歴史と簡単な教義を理解する。	
		3週	ユダヤ教（1）			ユダヤ教の歴史と簡単な教義を理解する。	
		4週	ユダヤ教（2）			ユダヤ教の歴史と簡単な教義を理解する。	
		5週	キリスト教（1）			キリスト教の歴史と簡単な教義を理解する。	
		6週	キリスト教（2）			キリスト教の歴史と簡単な教義を理解する。	

		7週	イスラム教（１）	イスラム教の歴史と簡単な教義を理解する。
		8週	イスラム教（２）	イスラム教の歴史と簡単な教義を理解する。
	4thQ	9週	バルカン半島諸国	バルカン半島の民族と宗教の多様性を理解する。
		10週	中東問題（１）	中東問題が民族と宗教に密接に関わっていることを理解する。
		11週	中東問題（２）	シオニズムの考え方を知る。
		12週	中東問題（３）	シオニズム運動の活発化とヨーロッパの関係を理解する。
		13週	中東問題（４）	パレスチナ問題を理解する。
		14週	中東問題（５）	パレスチナ問題が周辺国に与える影響を知る。
		15週	学年末試験	後期の確認
		16週	学年末試験の解答とレポートの評価	評価の確認と授業のまとめ

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	5	0	45	100
基礎的能力	35	0	0	5	0	30	70
専門的能力	15	0	0	0	0	15	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0